Owner Instructions

AF-1

agv

日本語

AF-1

THIS HELMET'S SHELL IS MADE OF FIBERGLASS
THIS HELMET'S LINER IS MADE OF POLYSTIRENE (EPS)
MFJ公認ヘルメット

1) XQRS (Extra Quick Release System) シールドの着脱方法

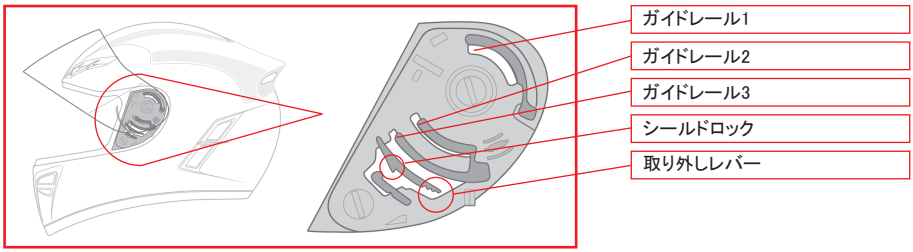
着脱が容易なXQRSシールド
シールドの着脱はXQRSというシステムで行えるようになっています。XQRSは、シールドのツメを帽体側のガイドレールに差し込むことで装着でき、ツメをガイドレールから外すことで取り外しが容易にできるシステムです。

シールドを取り外すときはシールドのツメ1、2、3をガイドレール1、2、3から外します。取り外しはヘルメットの左側から、装着は右側から順次進めるようになっていますので、必ず手順に従ってください。

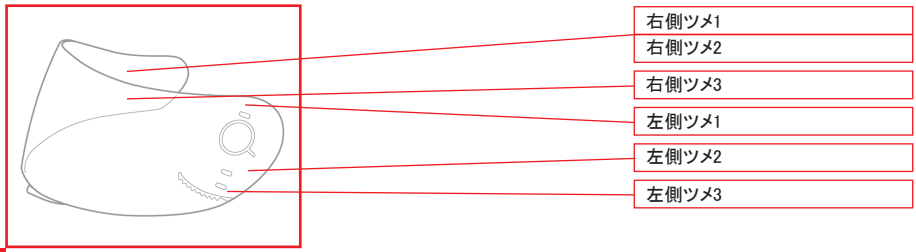
※シールド着脱は必ず手順に従ってください。
無理に進めるとツメなどの部品が破損し、使用ができなくなる場合があります

このシールドはくもりにくい
NFS加工です

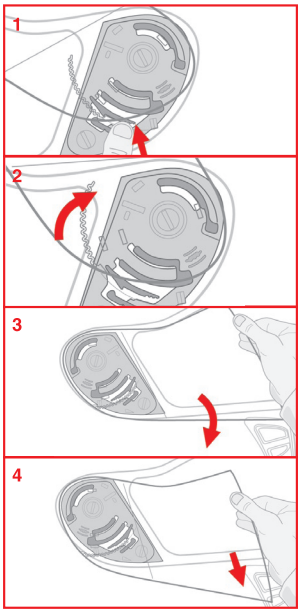
各部の名称
帽体部機構（ヘルメット左側）



シールド



シールドの取り外し方



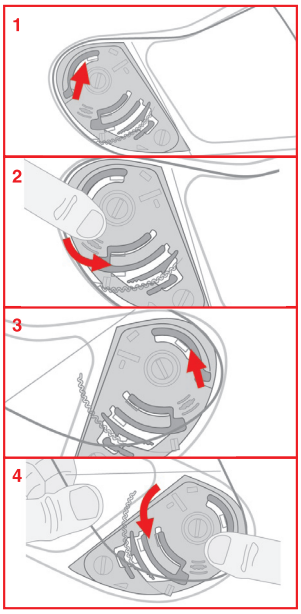
取り外すときはヘルメット左側から始めます。まず、シールドを全開（一番上に上げた状態）にします。取り外しレバーをガイドレール3にぶつかるまで押し上げます。取り外しレバーを押し上げることによって、シールドロックが外れやすい状態になります。

レバーを押し上げたままの状態で、シールドを全開よりもさらに上げると、左ツメ2・3がガイドレール2・3から外れます。次に、シールドを閉める方向へ、閉めた状態の位置まで下げると、左ツメ1がガイドレール1から外れます。

次にヘルメット右側でシールドを外します。まず、シールドを完全に閉めた状態（一番下に下げた状態）よりさらに下げると、右ツメ2・3がガイドレール2・3から外れます。

シールドをさらに下げると、右ツメ1がガイドレール1から外れ、シールドが完全に取り外れます。

シールドの取り付け方



取り付けるときはヘルメットの右側から始めます。まず、右ツメ1をガイドレール右端の下から潜り込ませて、ガイドレールに引っかけます。

図の矢印の部分を上から強く押し下げて、右ツメ2・3をガイドレール2・3の左端から差し込みながら、シールドを開ける方向へゆっくり上げます。

次にヘルメット左側でシールドを取り付けます。まず、シールドを全開（一番上に上げた状態）にします。左ツメ1をガイドレール1の下から潜り込ませて引っかけます。

左ツメ1が外れないように軽く押さえながら、シールドを閉める方向へゆっくり下げ、左ツメ2・3をガイドレール2・3の左端から差し込みます。シールドを完全に閉めるとシールドロックがかかりカチッと音がして、取り付けが完了します。

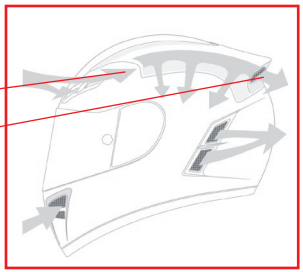
2) ベンチレーションシステム

フロント エアーインテーク

ロア エアー インテーク

ライナー通気溝

リア エアー アウトレット



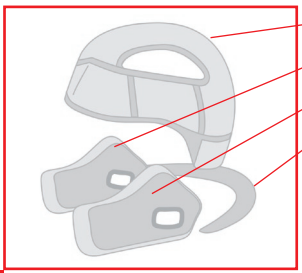
2.1) フロント エアーインテーク開閉
カーソルをカチッと音がするまで動かします。

カーソル

2.2) ロア エアー インテーク開閉
ロア エアー インテークの開閉には、レバーを上下させます。

レバー

3) 内装



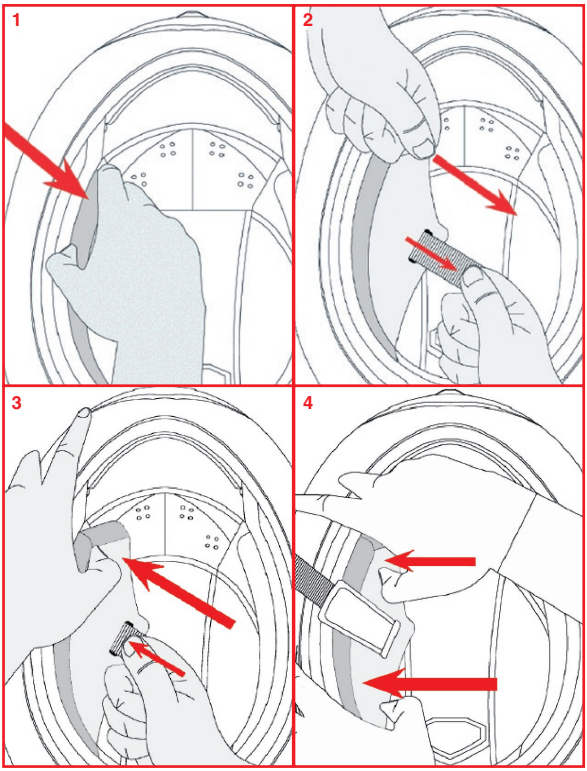
内装本体

右チークパッド

左チークパッド

ネックガード

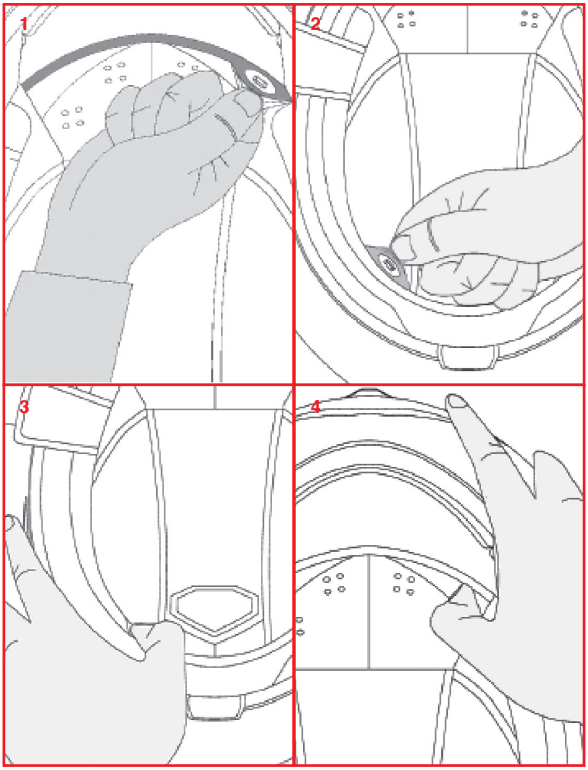
内装本体、左右チークパッドは取り外してクリーニングすることができます。
内装の取り付け、取り外しは以下の図をよく見て行ってください。内装のクリーニングについては、「Safety Warning」の小冊子を参照してください。



3.1) チークパッドの取り外し／取り付け

チークパッドを取り外すには、まずヘルメットのあご紐付近で、チークパッドを握って、矢印の方向に引っ張ると、チークパッド内側のプレススタッドが外れます(1)。チークパッドを引き抜いてあご紐から取り外します。(2)

チークパッドを元に戻すには、チークパッドの穴(3)にあご紐を入れて、内側のプレススタッドをはめて装着してください。(4)　チークパッドがヘルメットに完全に固定されているか確認してください。



3.2) 内装本体の取り外し/取り付け

内装本体はヘルメット前頭部の2つのプレススタッド(1)、およびヘルメット後頭部の2つのプレススタッド(2)を外したあとに取り出します。

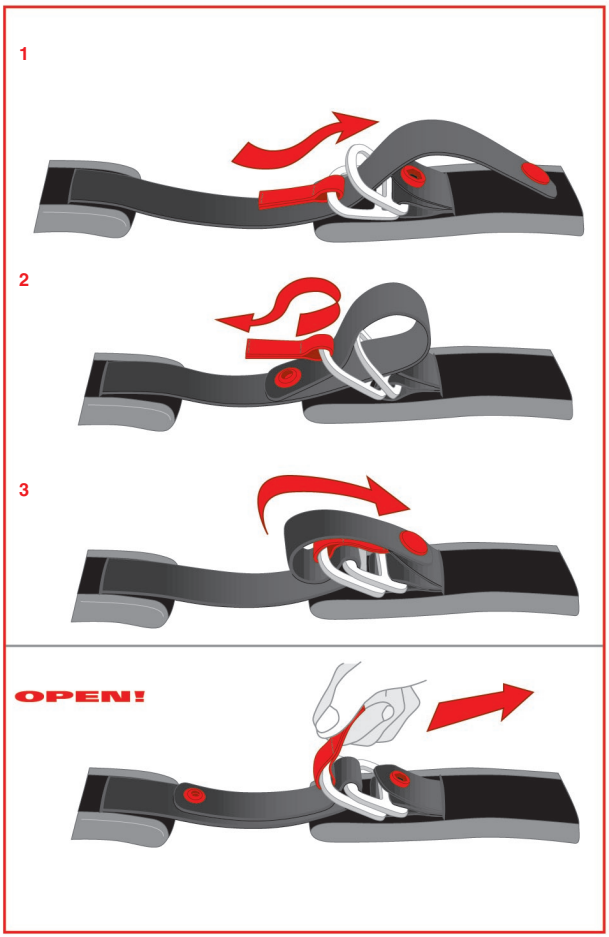
NB キャップ(プレススタッドのはまる部分)の損傷と内装部分の破損を防止するために、すべてのプレススタッドを解放してから内装本体を取り外してください。

内装本体を元に戻すには、ヘルメットの中に挿入し、2つのプレススタッドを後頭部3)、2つのプレススタッドを前頭部4)の所定の位置に留めます。

4) リテンションシステム（あご紐）
リテンションシステムは3タイプあります。

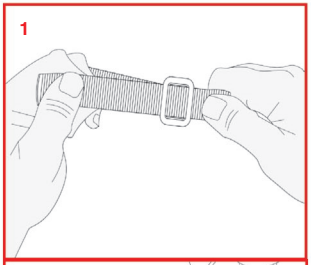
– ダブルDリング
– クイックリリースバックル
– マイクロメトリックバックル

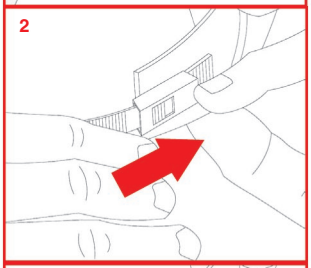
これら3タイプの使用方法を以下に示します。

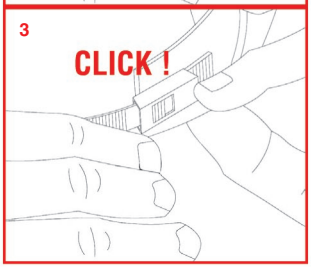


4.1) ダブルDリングリテンションシステム
ヘルメットを固定するには、2つのDリング(1)にあご紐を差し込み、図2のように折り返します。顎の下であご紐(2)の端を引きあご紐を締めてください。そしてフラップ防止プレススタッド(3)を所定の位置でカチッと留めます。図参照。
ヘルメットがしっかりと固定されていることを確認して下さい（小冊子『Safety Warning』の「正しいヘルメットの選び方」の項を参照してください）。

ヘルメットを取り外すには、プレススタッドを外し赤いリボンを利用してあご紐を緩め、Dリングから外します。



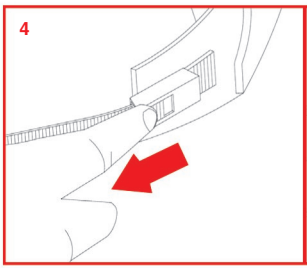


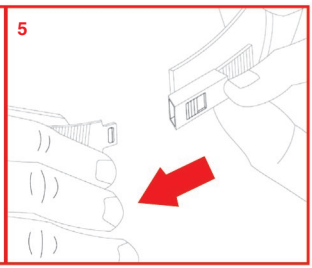


4.2) クイックリリース・バックル・リテンションシステム
クイックリリース・バックル・リテンションシステムでは、事前にあご紐の長さを調整する必要があります。

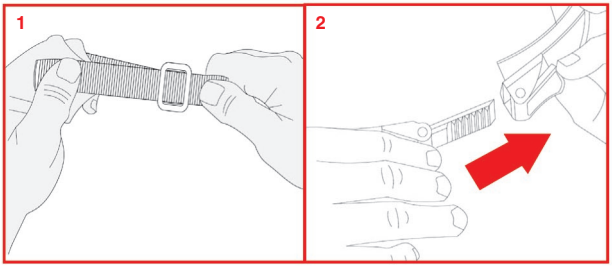
下図に従い、リング(1)を通過するあご紐部分を長くしたり短くしたりして、ヘルメットがしっかり固定されるようになるまであご紐の長さを調節します。

ヘルメットを固定するには、バックルを、リテンション機構(2)に差し込み、カチッと留めます(3)。
ヘルメットがしっかりと固定されていることを確認して下さい(小冊子『Safety Warning』の「正しいヘルメットの選び方」の項を参照してください)。



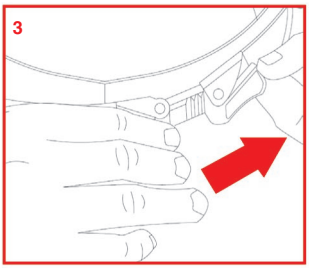


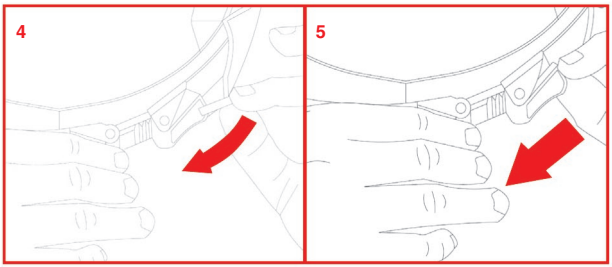
ヘルメットを取り外すには、赤いボタン(1)を使用して、リテンション機構を開き、次に、バックル(2)を開きます。4.5図参照。



4.3) マイクロメトリック調節リテンションシステム
マイクロメトリック調節リテンションシステムでは、事前にあご紐の長さを調整する必要があります。

下図に従い、リングを通過するあご紐部分を長くしたり短くしたりして(1)、ヘルメットがしっかり固定されるようになるまであご紐の長さを調節します。
ヘルメットを固定するには、メタルバックルにセレーションタブを差し込み(2)、できる限り押し込んで(3)あご紐が下顎を押しつけるようにします。マイクロメトリック調節によって、セレーションタブ上で好きな番号位置を選択することができるため、より深く、正確に快適さを「キャリブレーション」することが可能です(タブはできるだけ深くバックルに挿入することが最も推奨されます)。ヘルメットがしっかりと固定されていることを確認して下さい(小冊子『Safety Warning』の「正しいヘルメットの選び方」の項を参照してください)。



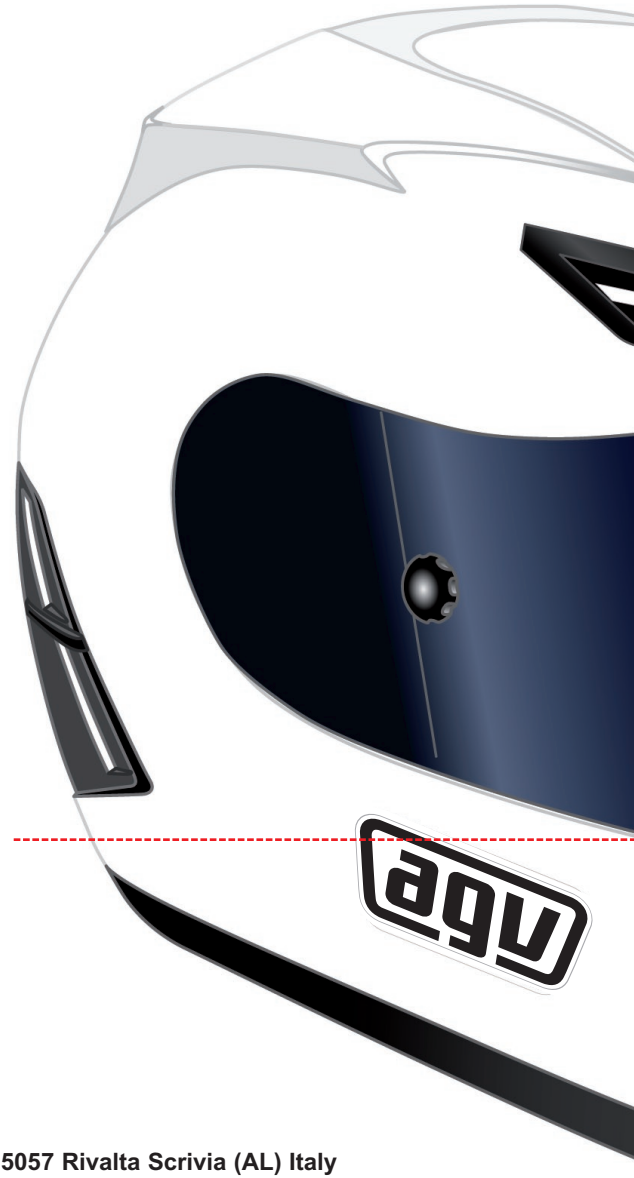


ヘルメットを取り外すには、リボンを用いて赤いレバーを持ち上げ(4)、次にバックルを外します(5)。参照。

注意: リテンションシステム上に配置されたボタン／ベルクロは、留め具ではなく、フラップの防止だけを目的にしたものです。これらを、ストラップを固定するための代用品として使用しないようにしてください。

agv
agv

agv
agv



AGV SpA
Strada Savonesa 12 - 15057 Rivalta Scrivia (AL) Italy
Phone +39 0131 853.011 Fax +39 0131 853.090
www.agv.it - info@agv.it